



さかわようちえんだより

(第1学期号)



令和5年7月20日
小田原市立酒匂幼稚園

園長 古木 美貴

今年もツバメの赤ちゃんが巣立っていきました。幼稚園には毎年ツバメが巣をつくり、ヒナを育て、園庭を舞うようになったと思ったら、巣は空っぽ…あっという間の子育てです。この短期間に、親は大きな口を開けて餌を欲しがるヒナに何度も餌を運び、排泄の仕方を教え、飛び方を教えています。それは一人で空を飛んで生きていくため＝自立のため。ツバメから学ぶこともありますね。巣立った後は親子の関わりはあるのかしら？

年長さんは新しい友達を迎え入れて、また賑やかになりました。進級の戸惑い、新しいことへの不安などを見せる子どもたちでしたが、個々のペースで受け入れられるようになっていきます。年少さんは初めての集団生活でのルールを覚え、好奇心旺盛に、新しいことに果敢に挑戦しています。安心した園生活の中で、それぞれが自分の思いを表現し、実現できるように努めて参ります。夏休みは、一回り大きくなったお子さんを感じながら、楽しい時間をお過ごしください。

酒匂幼稚園で目指していく子ども像

健やかな心と体の子

遊びを楽しむ中で、体を動かす気持ちよさを感じる姿がたくさん見られました。それと共に休む、汗を拭く、水分補給をするなど、健康な生活のために必要なことを知り、自ら行動できるようになってきました。



考えたことを実行する子

「これをつくりたい!」と思いをもち、形にできるように考えて遊んでいました。思うようにならず何度も直したり、涙をしたりする姿もありましたが、教師や友達の様子を見て気付いたり他の遊びでの発見を生かしたりしながら、繰り返し挑戦していました。



助け合う子

集団生活の中で、思いが通らなくて悔しかったり、気持ちが合って嬉しかったりなど、いろいろな感情を体験しました。そうすることで、次第に思いを共有し、同じような目的をもって活動するようになります。助け合うことにつながる心が培われます。



椅子座りゲームでは、「ここいいよ!」と手を広げる友達に、ニコニコして体を委ねます♡

保護者や地域の方とのつながり

コロナが落ち着いて、地域の方とのかかわりも復活の兆しが見えてきました。「ぜひ幼稚園に来ていただきたいのですが…」と連絡を入ると、どの方々も「嬉しいです！」とのお答えを頂きます。地域の会合に出席すると、地域の方が幼稚園のことをよく考えてくださっています。皆さんに気にしていただき、温かく見守ってもらえているなんて、とても幸せだなと感じます。人との関わりはとても大切なな、とコロナを経験して特に思います。幼稚園では地域の方との関わりをもち、地域の方に守られている実感と感謝の気持ちを育んでいきたいと思っています。



畑のことは鈴木さんと JA さんに手取り足取り教えていただきます！



保護者の方の絵本の読み聞かせは
子どもたちに大好評！



サッカー教室は回数を増やしました。
コーチはもちろん加藤コーチ☆



酒匂中学校の教頭先生に
ご挨拶をして笹をいただきました。



中学校からいただいた笹に飾りをつけて
酒匂小学校へ届けに行きました。
「校長せんせ〜い！」と話は止まりません♡



大きくつくれるシャボン玉を教えてくださいましたのは保護者 OB の方々です。
「懐かしいわ〜、また来られて嬉しい！」と。こちらも嬉しいです。



第1学期を終えて…夏休みに向けて

初めての集団生活、初めての進級…たくさんの不安と戸惑いの中、子どもたちも保護者の方もみんなよくがんばりました！毎年生活の仕方も変わり、マスクの着用一つをとっても様々な考え方があります。することもしないことも『個人の自由』と、本人の意思に委ねられています。自分で判断し行動することは、とても勇気のいる行動だと思います。子どもたちには自信をもって行動できるようになってほしいと思います。夏休みはぜひ家族の一員として、お手伝いをお願いしてください。自分のことをするだけでもいいかと思っています。「助かったよ！」と声をかけてもらうことで、自己肯定感が育まれていきます。「自分でやってみよう。」とする力をぜひ逃さずに育んで行きましょう！楽しい夏休みをお過ごしください。